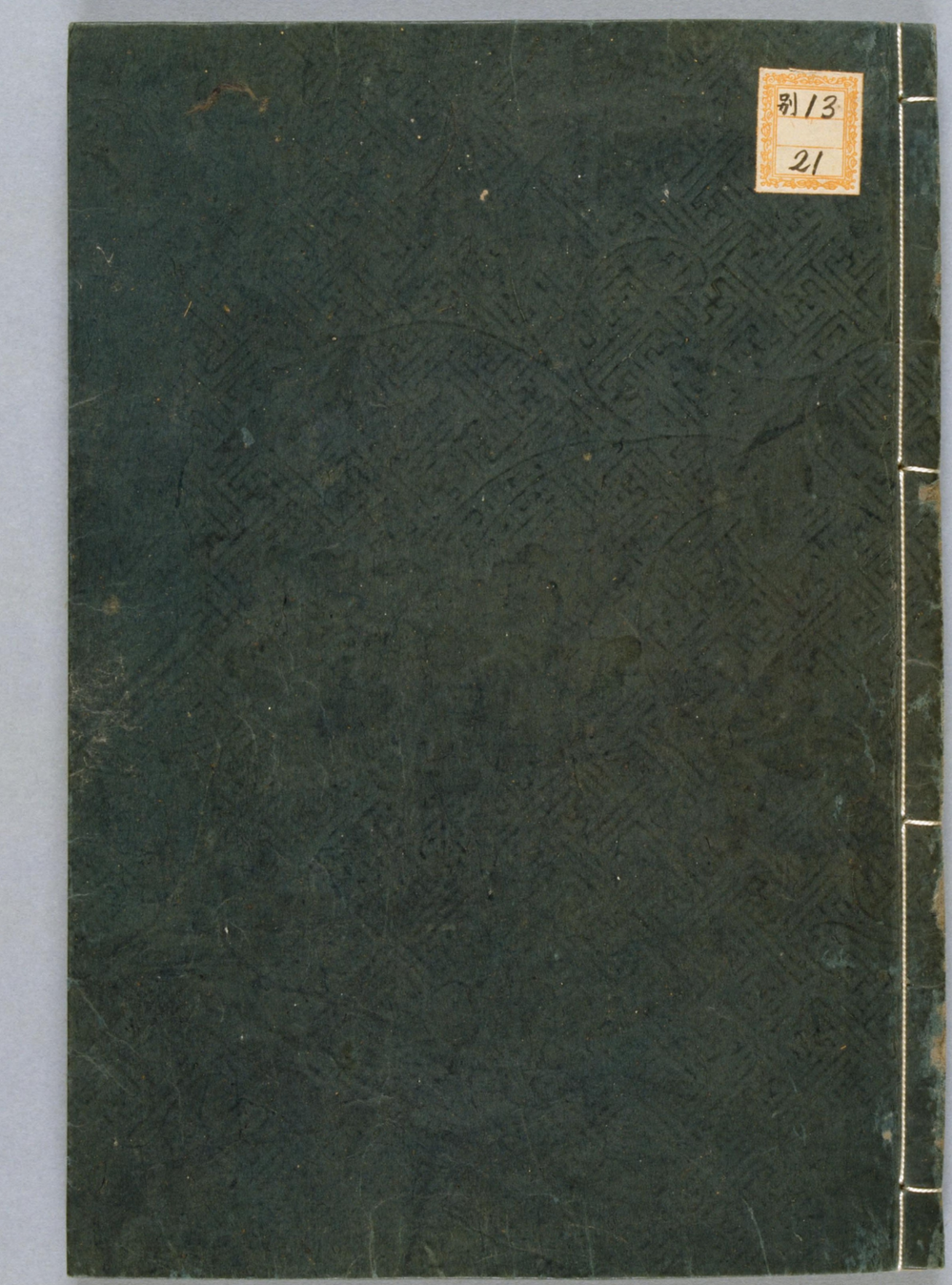


別13
21

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-001

国立国会図書館

8413-21

帝國圖書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-002

国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-003

国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-004
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-005
国立国会図書館

しよくわん乃見もとまそてうさん我さしくを
ふいしよくわんハゆらんして　我まあまぢら
ゆさとて小國乃まうのしんかとしりふとし
て美函乃大まうをさうなくむてまゐ色きと
一度いちよくしをちゝいあらちよくし
さらをと同くあのむほをそうもんをさいそう
いとあこうまゝ二度のちよくし我うてさうせ
給ふせうむくまうていきうしめしなさけい
上下ふよう色ゝにふ函のしんかの子成とも
そもくらしきまゝくらしまゝ色んてうをいたす

とてかくしけなくをくまうていれぬんさん
をなされまれたちよくしめんなくなとあし
ていそきさうをと同く色んでう我さしくぐまを
太家ゆかきまえいまよあり昔日えらひさう
しくまむりひふほとそこさままりこんどれ
むりひ乃ちよくしゆいうちなのあつそん
ふ右ふいしんかうまんなり我をなんてうも
中ゝ小國なりとはゆせとをち志第一のくふ
也見まん乃いて立かるふましまつかうあま
とのせんきまてむほとのふいせん三百そう

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-006　国立国会図書館

きさ紀乃清私をはまうどうげきさうとかん候
て志田川こんをこ川くうことり色ゆいあふ
む乃かしらを海るひとをゆはくさやくれ色
をこまきりふゆのうちよあしきをさきちん
ごんをましへくまうようらんけいみりき立
こ海乃たこ西風まるひきこう孫のかりら西
月ゆ志りくせいの私（なる）共云清色しまつひてん
くまんこま我こまき男をかさつこうゆよくまん
侍女三百人をく川て見ハせんちうれ出かい
しやくゆこめゆとてりさ里私ゆそのをられ

こりけり志らいさよ里もりろあしまて殺子
万里乃海上の出るくさこのをこうめよゆんか
乃まひあへしとてちこ百人をく川て男をか
ざつてそのせられこりをそ小文月（すゑひ）れす志清
うこことを清なとひてをしいこ清あまれりて
漸（せ）よあり孫共清まあしふゆれか我あけこり
うくてるこうせ志川りまてふゆ西なんてう
津乃西やるんどのうらよ清きさりはちよく
志いるり乃京（こやう）すり清く

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-007
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-008

国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-009
国立国会図書館

ありうこや只一めゆりこせんこにそひんく
我のうまこらまちにふつきの家と成さまは
あやくまうていもまううんにまこしみるま
ちうけうせ給へた結病をいやしこらまちに
やうしやうの大いにあへなあくちして
持ゲ乃る世すれをよこそのうまどそゆこう也

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-010
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-011
国立国会図書館

しやくせんこんのみそぎにて五寸の釈迦を
はくりこそにくしきの法しや里を法しんに
飛りこめなりこそうへ八寸のすいしやうのたう
のうちにおきめてむけなうしもとの付て元
を一のてうなうにしをくりふことを為のしに
うきいしのまことにおきめくをくらせこまひ
まりとうや此ゝ滅ゝすれたらこうぬくし
のかんそん釈迦かとけの足きんにえりため
給ふ為きなりとかきこうをくりくまひ書き
さてしきうてうなうなうしきうしきもこ

してをくる為きさまやうの人をえらめとて
法たりのとも我めさるくに大國のなしひりて
百人ゝ大将を百ことの付子人ゝ大将我子こ
といひ万人ゝ大将を万ことの付ゝうなくた
のすゑうんしうといふ西にまんてしやうくん
うんそうとてこいうう一の法たりのありをと
らぬなと乃法たりの我三百人あひそへ 於我
たりく大唐乃明別の みなさま里 一葉の
私にさか我さしをひての風に不我あけく数
子万里をなくりきり ういていにまゝ給ふ

たいしよくわん 1冊 本別13-21 00-012
国立国会図書館

八大鉢王のそうまうこまの日中へまゐり是
をしんぼうにてしろしめしそろく此鉢王
こゝろ我あ川めぬ事せられまゐりいサし まゐりい
まてにかいていの鉢王こゝりといへとゑまい
三鉢の鉢まゑなくなりあうにもあひうゝ鉢
しやくせんこんの見そきまてゑ寸の鉢迦此
まいふの乃此なるのよに此度をいさし
むれい鉢く我ホしやうゝくるゝへしむしゝる
ゐしとて八大鉢王のなゝ風あらく立給へた
ゐゝ鉢ようこうしちさんしなゝちしゝ
まゝさりきさうまゐきとくふしきのをとけ此
めしこゝろ此鉢なまは サし しやうゝいの天人ゑ雲
をしのきふのをうしゐこのをしやらせのゑ
まゝう鉢をしゝめさうせ給へたふ子細ゑ
まくしてゝ川ものそや我いりことく詳定
をひてとゝるりまゐり コトハ まうまういとくいりり
我るしなゝう世にくとくめまはぬさへてむ
ゝいとゝへしさあるん時に異国のそのこゝ
めてはらく掬せくゐし まうまうのきんそく
ましゝ有きそのいなし しゝ也雖いこけきその

たいしよくわん 1冊 本別13-21 00-013
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-014
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-015

国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-016
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-017
国立国会図書館

てくひ城されとは侍るてうとうへなり
うなゆねと紀のせんにゐ志たうてゐたうを
かしみされひやうしきりひやうしきうに
をこふ時ゆは血(ち)をはたきとなりしてかう道
と侍るすし侍めてとれ志也らくうへ此さく
うひ志むりしを今をためしなしきうへ志也ら
うたうひにくをえんのあめをふりし風(あく)城
ふきをしせたん志やくをふくする事ハ雲
乃ちなのちるこしく侍るきをとをせなとを
なけとく乃矣をもなす事ゐなくをまくら

あとし身をうくさんと思ふときましの中へ
まけていりあらりまむと思ふ時しゆみまを
たけをもらふへしかるあんたうめいよ城ま
乃ゆへにまんしあくをせんとくうへを
まそにちやうへろ人ころあるこけをひさめとひ
いきなひにをきまそのうまうくそ見えに
まる(コトハ)侍る葛まんてゐみるのぐんびやう
とも城ちる侍けてとそをうなゆね物なくは
志也らう大将四郎人そこのみろ川となりて
こう奥西乃ゆくも志る道けを我とおそりん

十七

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-018
国立国会図書館

へくは此をしてこんやとそこんかうらい
乃まんこくらいさうらいのまんこくまやう
らいしよそん一子二百余そん此まんこくを
おろすしうけてふきそくしふなそこくまも
名る其そのかすあまくひきいくれまんこう
ひさうの名るにしんけうあし毛とみけて七
きハふんあけ六さいあらくまてあけう
してをつさ後むふことさまり（カルツ）毛くら
そうどうけま孫のくさり志くあひか孫なこ
まめのあしあふけくりけけうらとくあり
らんてんのくらをなれしよりうのにしき
乃上おまこんぐくぬのれ取りれあぶこ里さ
志也乃ちくうけをけ志事くのちまてそめ
たりまりおるしきおそうひ我うけさせしら
孫乃くれもうん志くかませにしきのまつお
ふつてうけ万子ゆくまとうら寄くなこうし
志門まねうくも門我四川の足（あ）にうけなきは
まこ乃うへ我はし家事ハ毎ハろとけこふ
しとく也三百余人のけまの其い門まそこるに
のつくまともみなしくうもく門うけなきも

十八

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-019
国立国会図書館

くゝも升りけりのとふ度うに一むらがりけり
さつとちるしかしやらかちんへ切くへ志やら
大元をこそ一辺二辺きのこなるに三百辺れ
むまとこそかい川まもなこをもしる度いふし
きたりときこそ我きしかりてにいきむ志やら
大こそ小けし海なのこまそ成たりきる大得れうし
あしやらすく見ゆく云まるまなふ寄さうそ
如稀ことまゆせし度のちりいねなふめごまし
かかのすく度うしおりてうかくせめしまこと
きそいしむあらそひあらうふ候にはれまし
き事まてはそやまをくさうくまいりにとし
てうう云うふかくか見えたこそ一合殺せん
とてお立たりしあさまをあくあう志むいの
ようひ我慕む云うきんあのふとれを我志め
とう志やうむきんのかこ浮ねて志んいくら
のたくさうせ面せんかや川かんれきんそく
大我あひ志たうへ志きりにとき我浮くまは
色きてん度ふまえ志やうりあらかいていを
うこかし波をあけあくうさなからとうよう
して月のひかりもう川もまてひとへりしちゆう

たいしよくわん 1冊 本別13-21 00-020
国立国会図書館

来と成まりまりあのなく者ようけゝ成りり
まんこ志やうくんうんそうに見来我せんと
いふまゝに万子我伴にとりこめこり万子か
法ものともあく我せむとく切たりまりらど
あ志四ら三百人かくこんらあしゆら五百人
手をくくいてそきつたりまりまんこいめい
よのむまのり海のうへにてのり重つれさう
ういふと里うぐい姫のりうりめこりむまれ
あしゆんてのものを法くときあふぎやうの
ひ
まつかきつとひくめくのものを法くときは
ぎやうのむちをちやうとう川にくるものを
なふときにけせんぎやうあ我里のあふこれ
むち我きよくしんこいに来ゝりゝ死しら
来へ前くと我らときには三百余人かあとに
付く家をせんとく切たりまりいまかくへし
こうへ志四らかいらさいこゝまりらく
うるふ法へしとも見えさりまりそうた詞れ
まけい志四ら八めんまつひ我ゆり三く八川
志さのかと我うりゆり討死あく也と知めき
さきんてかけにまり

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-021
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-022

国立国会図書館

まんこ元をとて呼ばきなりあらさまはにし
お我弱ひ手ぶとしたよてんにふくきせい
すゝ志ゝ家為くへ観世音ひ弱たゝへ弱ふな
ふひぐんだんちう孫ひ観音里さ志ゆんたい
さいさんちりひいまなりていしゆらゝ我そ
家くけまん乃ちこ我ぬさしうけよいやさし
うけよと下知まはけまんらんたうこ後此
ちこをまゝさ紀よさくせ我をとらしとせめ
かゝ万子ゝ法ちのゝ門に家くをつふせく
切ゝり並りたん里きを門きたて法うゆゝ紀ひ
きゆうをうなりはしそこのみゝ門となりに
そりいきのゝ志也らともすゝかくてり
うゝ進ゝりまんこゆらとき法くりうけ之と
乃私にとりのり志也らゝうたん乃ゝくかひ
にかゝらぬやくといさゝ我なしゝうさうう
らいたし里をき月本ちりふそなりすゝ
法ゝ何ひさ誇王達元をはさそいくいせんと
せんきせゝ進まりを中すと門ゝ元なんこ
里うまうのゝ後いくそ進人者のち志我たち
うるん本はこゝめよ紀をんなによもたりし

たいしよくわん 1冊 本別13-21 00-023
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-024　国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-025　国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-026

国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-027
国立国会図書館

そうほうひやうたんいちあつあまみみめう
のれのりとしあちのおんせいをなりあまよ
五川乃ゝ海志ぬるこんしたくいしむなり
きじ五川のうちをくそくまろ我佛と申
五乃うちうけぬまたくちあんをいのちく
ゆいたり　いふを佛を弥りんまろ人いを
五りいをよくたりつへし　ひと川をりいを
面ふりなんむそくたそくの者と聞くなりく
なとけまなりまし　おなせいををくさふう
とあらこくこうたりまておりひへてそ
おたしきろまんこもこいこうそこち仏はか
ふのくふなまはあらくかこりやあらしめ
せうや根本根生乃れこめふきんりいをなる
たせ弥ふりをりいりんのなりふ六たら三川
乃ぎゆうありを中下と川くをあんふくたら
三川とは人乃あら弥我屋ふら寸いふ五りい
我たりつてを人のあろ我屋ふりなんなりけ
とさらふなりうしさまはあや仏ふは三脇
六法うおたしまれあまはひと人ふくをこふし

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-028　国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-029
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-030
国立国会図書館

みなまへ乃まへかうにたきなをとり身をあら
し　せんこくにむまふあるのあ　あかり
乃記まは我くむこひよるんこいそそれ法こら
とるら　よりあ又よりもまうら仙人のゆりれ
うへ而し　産せん乃とこの　ふどんとなり
かりしんかこうをはこまきしく釈迦と成
こまひ三ういのどくそん志しやうれ原こと
ゆしくて一大志ゆうげう我とき記乃め給ふ
なりあくをこ問くあんまくりかんなうそく
かくいしさんは花そくそんとてさいし我
たいしさんひて仏と座すく成なるなるとや
こいし志やくそんを日うのくら升我ふり
すてくきさ記をいとひ給ひきりを外志よう
ぐ日乃産うんうちいい川まうさいし我くい
してかとけとなりし人やありさそを仏
乃はをとくなんこ太子とゆせしい志つ事
かんなう所きすして女人我あのを給ひし我
くてい佛りなりしとそれとけさう為ん
めくもして洋云地獄乃ありさ海をそくしん
りこせこそまつりはぬかお家とけさうせて

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-031
国立国会図書館

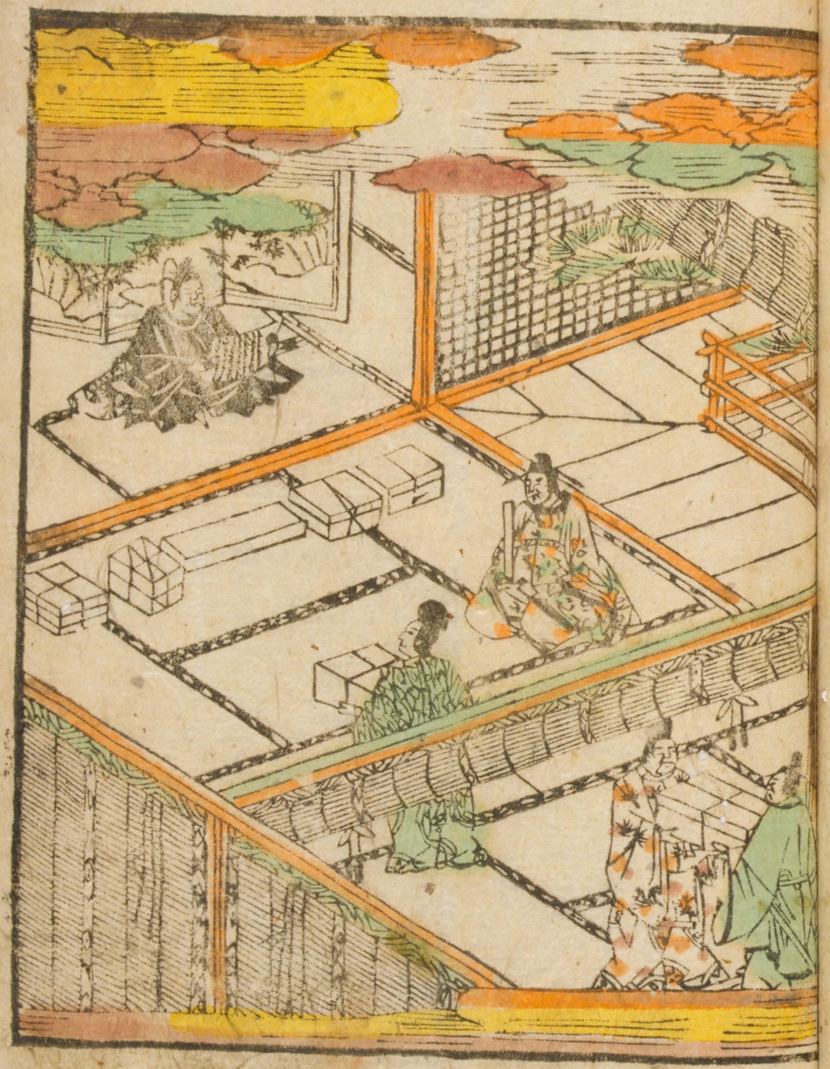
なんだひくとそなし給ふ　行ツメ　ほくあのむしや
ぎゆう我ことをしへ給ふはまうそくに悪き
ゐをしゆりふせいなるへしかやうにかせを
とくそとこゝ里我は佛りてあるなりあらう一
生　同
志ゆうどう一神りしちは業師こゝ[illegible]
[illegible]みろくさらは釈迦こしは大月[illegible]也
其外十方乃志よふのこゝろそろくれ[illegible]さつ
としわるくはまくそくして十方のとくうに
なうゆよとしておもします某を世にさりを
世にはいれ[illegible]人世にはしまにをかわ志ん[illegible]
とや形我作りあらりし　浄土我立く[illegible]
給ふをなう志んふのとやなり八相成道し
こまひて法をときすれたら流生を里やくし志
給ふ我[illegible]分仏とや也三身をとりまき一志む
を志んすりはさとりの海人れなとけなり三
志ん一そくとくるんしいれ[illegible]を志んまる我
さとり乃おとや佛となるんそこゆるんぎゆう
[illegible]やうせんものいりとく善おくこゝる[illegible]
身はいこ法らよなさ[illegible]とうなふましとそ
[illegible]せまり

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-032　国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-033
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-034
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-035
国立国会図書館



とてのくりたりう城さ紀とおくいそき都に
のかりさ海しくのかうふつをとりいくして
さいおよくもんにまいりせあくるさいおよ
くもんは出遊してをくりふミのを半に身一
乃たりうミのまいしやうの二海此見えねを
いりにとまつ孫とひ給ふ法くむ色きにてあり
さまきあり乃まくにかゝあく家

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-036
国立国会図書館

かまたりけるまてあまりおりへは主会(むすめ)成(なる)にせめ
て我をくそくし雲浦(うら)のまき海をみせよと
おもせきまはうけ海りくとやてもとりれ
ふひよのせやふき海のおきへをしおして実
なりとや只たうくと志くうなきれう人を
ほらんしてむなしくそと里給ふ(サシヤウ)　なまうう
おほしめすさそあまむ称んなるそのうな三
あ一乃てうなうを我約のうらとはなさを
していこほらは称実のたかうとなしきんに
ぐうかいは(コトハ)其六なにをひくそちく志やうこう
乃うち人目のちゑにはたりかにをとらへさ
そのをさあるん時はなにとしてたれかうま
きんかしきさよ(イロ)　まま又ぜんをうなう為ん
しいかにを　あんをめくもしこの海り
をひくはとらふをそのとお用しめしこやこ
にかへり給ひて約夕あん我めくらし海を
とう為きたりとしくをふうましくけまを
これかうはちう為こたけく為志う志んたう
なうさまは私のかよひちあらんそ志りり

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-037　国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-038
国立国会図書館

風にうちなひき　なかれもはしき浦なりし
そよ　よしあしと云浴りて　二人あまはそ
なくさこれ　うき孫のとこれからまゝらし波
乃ようにもなりぬまはともをなきされさよ
ちとりふきしおりしらうらう防ひしこしを
くらぬるなこのをとすききのまろにさ紀あ
まん本すしなこのこゆるに似てしか面れ
をしり一むまひましいかすこにきしまひ
ゆめ所に似ようこうこれなこれこしふ○
かけすりまてからろの者のさ紀をまはたなに
なく孫のかりうつ○まもしやこれこひし
さに教紀くしへてなくまくりうる男なりし
をまきの乃と紀あけぬくまぬとをきゆけた三
とせてしなりいかとをなし　うくて男女れ
なりしへまりる紀なりのちきりゆやわりきこ
賀給ふいまをたりひ　りしなに事をうち
とけたりしいろ君こたりうまをりみこめ
給ひていまいなにそりはくむへきまこう
こやこにかくれをなきこいしよくんとは武
事なりこころにふりきのうこれありてあの

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-039
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-040
国立国会図書館

きこしめさくと申すことを
いくさのこるをもまけて
あらん　二日
をもやきて七日
うりおりせけう
をも
ぬきとも
はらうもとゆくみそ
よこうりうこ
わうきのいうみ
とやさんくきこ
ゆくみちの
をもひこ
そこうら
ゆるしたまへと
ぬかそあらん
をまよ地
あ祓
河
うんうんうんそそ
ぬ一川のはやあり

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-041
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-042
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-043
国立国会図書館

コトハ
うまたりきこしめさまそさそあるまれあり
ところをたしかに見なきこゝのかなかと
こふをおりひなんとりえん事あきのちゆう
なり 王 諸王をはかりことをめくもしたるかの
てとりたまへ 正まをこくみをめくもしたるへ
かつくとう色きなり サレイロ そまつさうしんとやハ
又まい三種の記まをなくくるしみおかきは
分なり 此くるしをきぬかる事ハ志る色
乃をこまにを志りし コトハ 変我を用らくあんする
に諸王をたゝんかるなりは葉とくまきんにて
たゝかる色しまのうゝの打りてに極楽浄云
を満るひこまのたゝかて面なりまゝなるへ
さて又かく色をさうにかさつて左右此きん
くまんを志る色まゝしそのみきりにこゝあ
よ紀ちて 我そろへ おんかくをそうまうなり
なるはこゝ天人に似たるへしさあるん時に
大僧正かう里んをうちなりしよてんやかい
乃里う志んをおとろかしくまんまゝするなり
たまくめにより門く神をとけのうこらいまん
御しまのきた諸家のこやこより八大里うまう

たいしよくわん 1冊 本別13-21 00-044
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-045
国立国会図書館

あまくとのゝ殿へ　あまん人ねくゝろあふ
度々かきりなし　座ゝくゝやこへ　使者（しゃ）ねこそ
葬ぬしをめしくゝし　あらりのうしのみ　ゆ
ゝせ　志也さんをもつくいろとれ　男　姫ゝに　ゆ
しそたりとそけまゝ十丈のたゝかゝ　百なりまゝ
たてなるへ　ゆせ　ゆまりせくひろうゝ　せん
さうゝい　名座ゝく　洋云　とゝろ　ゑゝりこきれ
ゝく座ゝり　かさりたてゝろ　大さいこ　まん
まくをめけさせ　志也　まん　不玉のまゝれ　ゆ
ゝけ　ゆう座ゝ　ゆさうゝ　ゆかさゝ　こけむ

ちとくの大僧正　ゆうまんをおとろうしあゆう
上てん下ゝいの里うあんをおとろうしあゆう
すまは八大詩王じ也らいしてせんきまち
くなりなりなんせむ姫あう　ゆき勝れうう
ゆしてゆう座ゝ　ゆさ里ちうあやうあゝいさや
ちいまん座うゝう　殿くちゆうもむせんとせん
きあくそこくそこのまんそくたを　ゆきまして
こういてられけまゝて　不里うあんいて　ゆへ
も玉中のちこゝち　男をかさりまうぎあく　ゆ
せんとしまひ　ゆふ　ゆくゝ　天人のことく也

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-046　国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-047
国立国会図書館

中さんや女乃身とおもふ一人うしへいり良名
こゝろひすくなきあるゝ様子万葉のういろ
をまきまうくうのこゝやこに作く歌光れさ海
ゝりてしさまてくしきもころいなりまり
雑夏見なれこゝりし事なまはまよふ色き
あくさふらはれ諸家のおうてんゝありめ
なくまいあう乃こ海ゆひのまくにぬまゝ、
和くあしに作けくろやくそくのぬの作なと
ひけんせんちう乃へこあんや屋くそくあし
ありとまてに作なとくりあくりあまこりさ

こてうけけうへよるにひきこゝろ今い
ううと見えしこゝろゝ事我海なまり
に諸王のよしを見作けあとをもとめくなふ
夏いこしこれものそやをいりあくく和中れ
人こあまやかのうにみゆりきくりあけこと
けちすりに　あまのあとゝ作ぬくひこれ
乃大きやをふてくるこけい十ちやうこゝり
こて雑まに作るきをたきこそ海なくいと
夕日乃これにこれろふこしくなりくまこの井
乃こしくなるまこのさ紀をふりたてまこ海

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-048
国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-049
国立国会図書館

なさけなくこそのあまの三川にあしをけら
さまこそ三川のあまとそきこゝにまゐる　むなし
きこゝろいを云きあけ読んのなりにあまをなき
一度にこゝろとさけぬうまこゝりはらんして
ゝ海をもとり給ねそのゆへに二世のきこんを
はさてそねむ孫のなひこにきすあり大しや
乃さけなかうこなるとあやしめはらんあり
きまはこのきすのなりこゝまもすいしやうも
至いてさせ給ふ　さてハ大しやにをろかけ
しときこゝ　うな我ありとゝ見えしハふせかし
ゝめになくしゝ海をかくさんそのゝめに
わり男をかいしきりうとよ　せめてあの
きすをわり男をとし物ひてゝをかりとこり
そのゝ物りふましき我　女ハそうなきあり
さまうな　男のめい我そむかしていのち
我すけるもうなさよとりし火にきゆなよう
乃むしハはまゆへその男をあらまなり嫌え
にこゝろあきのしりをもうなきちきりに今我
こしなふそまハみなしくあうあひまんりの
まりなれちきりとは云なりしかうなくれハ

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-051

国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-052
国立国会図書館

別13
21

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-053

国立国会図書館

たいしよくわん　1冊　本別13-21　00-054

国立国会図書館